

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	フロア間の業務が統一された、業務改善が望まれる。ケア(技術)の質を高め、理念に沿った目標を職員間で周知できる工夫が必要。	「福祉事業五訓」、「事業所理念」に沿って、利用者に満足して頂ける目標、目的を職員間で周知する。	「福祉事業五訓」と「事業所理念」を、毎日の朝礼とフロア会議の中で、全職員で唱和する。介護・看護連携会議の中でも事業所の方針や目的など確認をする議題を上げていき、フロアで周知していく。	3ヶ月
2	7	不適切ケアの理解を深める。チームの課題として取り組む工夫が必要。「身体拘束廃止委員会の研修」、「センサーマットの使用状況」を毎月、フロア会議等で意見交換を行い記録(身体的現状、センサー使用状況等)を残していく工夫が必要。	職員ひとり一人が「身体拘束廃止」に向けた取り組みや「虐待の防止の徹底」の理解をして、適切なケアを実践する。	フロア会議で意見を出し合う。eラーニングや研修などを開催して理解を深めていく。不適切ケアチェック表を定期的実施していく。	12ヶ月
3	26	利用者の課題とケアプラン(介護計画)の連動が望まれる。適切なモニタリングを実施して達成度を検討して、ケアプランの見直しを実施して職員への周知を行なえる工夫が必要。	分かりやすい書式を活用して、利用者個々の情報を共有する。課題とケアプラン(介護計画)を連動させモニタリングを実施する。	ファイルの整理を行い見やすくする。課題とケアプラン(介護計画)の連動に意識をして作成する。	6ヶ月
4	40・49	利用者の好みや力を活かした楽しみ方を工夫する。便秘の改善が望まれる献立や水分の提供が適切に行えるように工夫を行う。運動(外出等)をすることで気分転換できる工夫が必要。	利用者の好みや力を把握して、日常生活が楽しめるように季節を感じて頂けるように近隣の外出や飾りつけ、食事の提供を心掛ける。利用者様にも飾りつけや調理の補助を一緒に行う。	行事の年間計画や職員全員で取り組めるように、月担当を決めて季節感が味わえる飾りつけやイベントを実践する。	12ヶ月
5	4	利用者家族からの具体的な困りごとなどの意見をもらい、業務改善に役立てる工夫が必要。運営推進会議等を活かし意見が聞ける工夫が必要。	運営推進会議等で頂いた、意見などを利用者家族とも共有する。ご家族からも困りごとなどの意見を頂く。	運営推進会議等の意見を家族にも郵送をして、返信してもらえるようにする。フロアからも定期的に電話連絡で利用者の近況報告を行ない困りごとなどを聞き取る。	6ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。